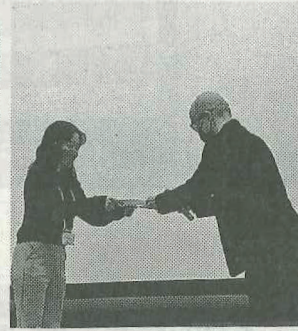


# 2022年3月18日 日刊建設工業新聞

中部10県の大学で建築を学ぶ学生の主催による「NAGOYA Archi Fes (NAF) 2022中部卒業設計展」が15、16の両日、名古屋市中千種区の市中小企業振



最優秀に選ばれた守屋さん⑤

## NAGOYA Archi Fes 2022

興会館（吹上ホール）で開かれた。9回目となる今回は75作品がエントリー。16日に最終審査が開かれ、守屋華那歩さん（愛知工業大学）の「未像家族」が最優秀に選ばれた。

### 中部卒業設計展開く

会場内には卒業生が制作した作品が展示され、建築家など審査委員の投票で受賞作を決めた。審査委員長は西沢立衛氏、審査員は蟻塚学、土居義岳、藤野高志、山田紗子の各氏、総合司会は大幡英亮名

### 最優秀は守屋華那歩さん(愛工大)



守屋さんの作品

学生がプレゼンテーションを行い、審査員と質疑応答を行った。

優秀賞には大槻心一郎さん（大同大学）の「裏・繋・路 | Negativespace」が生み出す流動性、関係性 |、伊藤稚菜さん（愛工大）の「住分解 | 規格化の再解釈」による都市的場所性の創出 |」が選ばれた。

古屋大学准教授が務めた。最終審査には1次審査を通過した8作品が残った。制作したに賞金も贈られた。

NAF中部卒業設計展には総合資格学院が特別協賛しており、表彰式では賞状とともに